

農業・農村基盤図の大字小字コード XML 作成説明書

2007/06/06

有限会社ジオ・コーチ・システムズ

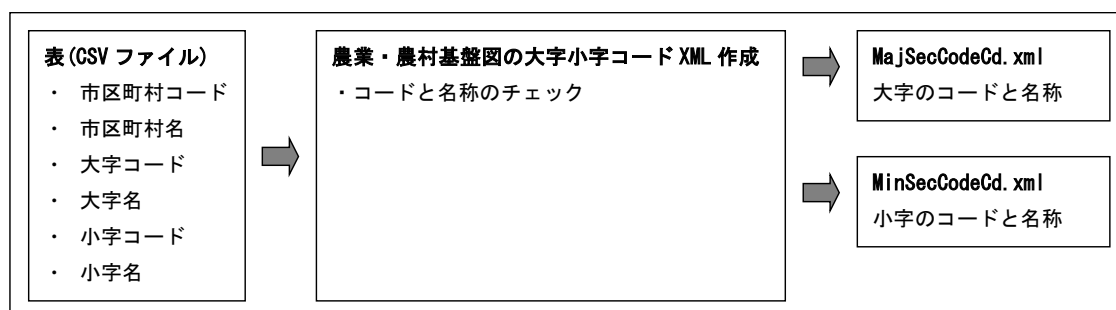
<http://www.geocoach.co.jp/>

info@geocoach.co.jp

「農業・農村基盤図の大字小字コード XML 作成」プログラムについての説明書です。

バージョン	ビルド
1.01	2007/06/06

「農業・農村基盤図の大字小字コード XML 作成」は「市区町村」「大字」「小字」の名称とコードの表から、農業・農村基盤図製品仕様書で定義されている MajSecCodeCd.xml と MinSecCodeCd.xml を作成するプログラムです。



最新のバージョンなどは次のページからダウンロードできるようにしています。	1
1. インストール	2
1.1. Java の環境	2
1.2. インストール	2
1.3. ライセンス	2
2. 実行	4
2.1. 大字小字の表	4
2.2. 実行	5
2.3. CSV ファイルのチェック	6
2.4. XML ファイルの確認	6

最新のバージョンなどは次のページからダウンロードできるようにしています。

<http://www.geocoach.co.jp/agr/index.html>

1. インストール

1.1. Java の環境

「農業・農村基盤図の大字小字コード XML 作成」は Java の実行環境で動作します。ご使用になる Windows パソコンに Java のバージョン 1.4 以上がインストールされていなければなりません。



「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」での表示

Java の実行環境は次のページから無料でダウンロードできます。

<http://java.com/ja/>

1.2. インストール

フォルダ「AgrMajMinCode」を、適当なフォルダにコピーします。以下のファイルを含んでいます。

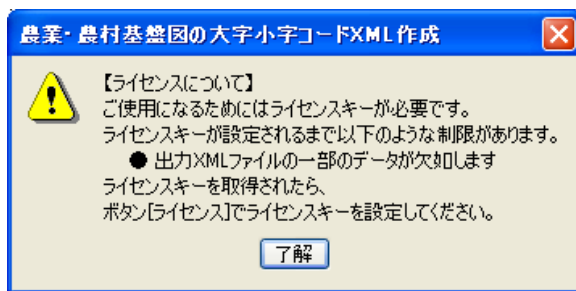
フォルダ	ファイル名	内容
	AgrMajMinCode.bat	プログラム起動用のバッチファイル
lib	AgrMajMinCode.jar	プログラム本体
template	MajSecCodeCd_xml_start.txt	MajSecCodeCd.xml の最初の部分
template	MajSecCodeCd_xml_end.txt	MajSecCodeCd.xml の最後の部分
template	MinSecCodeCd_xml_start.txt	MinSecCodeCd.xml の最初の部分
template	MinSecCodeCd_xml_end.txt	MinSecCodeCd.xml の最後の部分
template	CityCodeCd_tag_start.txt	市区町村コードのタグ開始部分
template	CityCodeCd_tag_end.txt	市区町村コードのタグ終了部分
template	MajSecCodeCd_tag_start.txt	大字コードのタグ開始部分
template	MajSecCodeCd_tag_end.txt	大字コードのタグ終了部分
template	MinSecCodeCd_tag_start.txt	小字コードのタグ開始部分
template	MinSecCodeCd_tag_end.txt	小字コードのタグ終了部分
サンプル	サンプル.xls	コード表サンプル
サンプル	サンプル.csv	サンプル.xls から出力した CSV ファイル
サンプル	MajSecCodeCd.xml	サンプル.csv から作成した大字 XML ファイル
サンプル	MinSecCodeCd.xml	サンプル.csv から作成した小字 XML ファイル

上記テキストファイル(.txt)はプログラムから参照し、出力する XML ファイルの一部になりますから、必ず AgrMajMinCode.bat 下の template フォルダに存在しなければなりません。AgrMajMinCode.jar はプログラムの本体で、必ず AgrMajMinCode.bat 下の lib フォルダに存在しなければなりません。

AgrMajMinCode.bat を開くあるいはダブルクリックでプログラムが起動します。

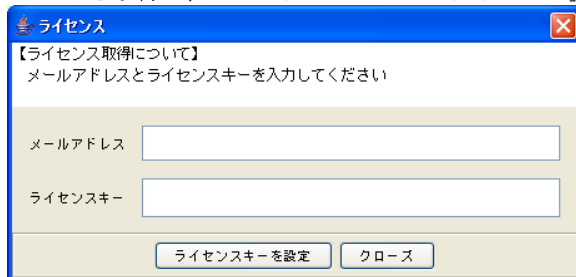
1.3. ライセンス

プログラムを完全に実行する為には、ライセンスが必要です。ライセンスが設定されていない場合、保存する XML ファイルについて、大字と小字の一部のデータが欠如します。従って、ライセンスが設定されていなくても、動作の評価は可能です。



プログラム起動時のメッセージ

ライセンスコードを取得し、プログラムのボタン「ライセンス」で表示されるダイアログに入力してください。



「メールアドレス」はライセンス取得者のメールアドレスを入力してください。

2. 実行

2.1.大字小字の表

「市区町村」「大字」「小字」の名称とコードの表を作っておく必要があります。表にはそれぞれ「市区町村コード」「市区町村名」「大字コード」「大字名」「小字コード」「小字名」の列が必要です。プログラム実行時にどの列がどの項目に対応するかを指定できますから、列の位置は任意です。また、一行目が項目名になっているのか、データなのかもプログラム実行時に指定できますので、項目名ヘッダ行の有無は問いません。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	PrefCD	Pref	CityCd	City	OoazaCD	Ooaza	KoazaCD	Koaza
2	34	広島県						
3			101	広島市中区				
4					008	大手町		
5							001	1丁目
6							002	2丁目
7							003	3丁目
8							004	4丁目
9							005	5丁目
10					001	榎町		
11					002	江波沖町		
12					003	江波栄町		
13					004	江波西		
14							002	2丁目
15							001	1丁目
16								
17			102	広島市東区	001	愛宕町		
18					002	牛田旭	001	1丁目
19							002	2丁目
20					003	牛田新町	001	1丁目
21							002	2丁目
22							003	3丁目
23							004	4丁目
24								
25			103	広島市南区	001	青崎	001	1丁目
26			103	広島市南区	001	青崎	002	2丁目
27			103	広島市南区	002	旭	001	1丁目
28			103	広島市南区	002	旭	002	2丁目
29			103	広島市南区	002	旭	003	3丁目
30			103	広島市南区	003	稲荷町		
31								
32			104	広島市西区				
33			105	広島市安佐南区				
34			106	広島市安佐北区				
35			107	広島市安芸区				
36			108	広島市佐伯区				
37								

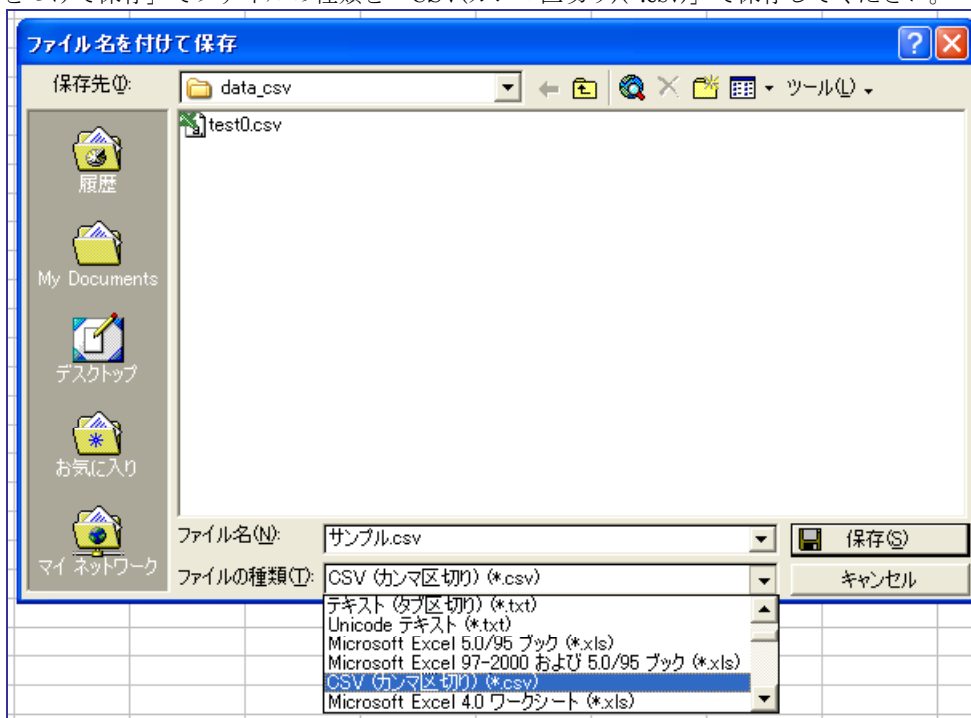
サンプル.xls

プログラムは各行について、市区町村と大字と小字の関係を、次のように処理します。

- (1) 市区町村のコードと名称を取得する
コードと名称の両方が入力されている場合、これを現在の市区町村データとする。
- (2) 大字のコードと名称を取得する
コードと名称の両方が入力されている場合、これを現在の大字データとし、現在の市区町村データに登録する。
- (3) 小字のコードと名称を取得する
コードと名称の両方が入力されている場合、現在の大字データに登録する。

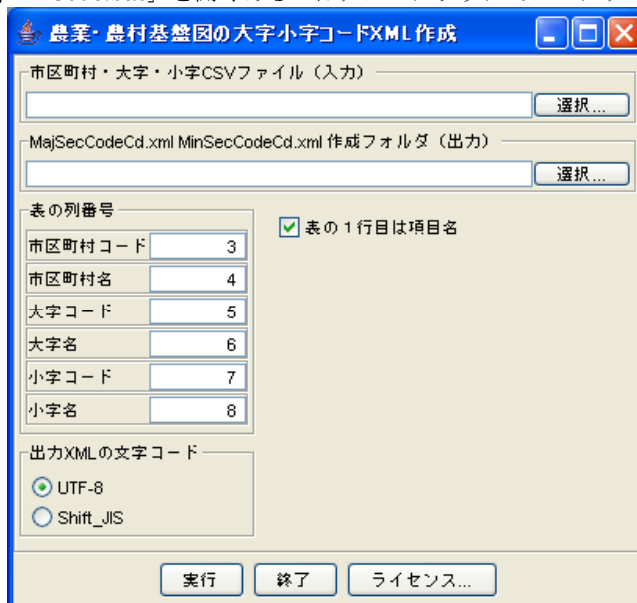
従って、上図について、1番上の形式のように、市区町村、大字、小字データが別の行にあってもよく、2番目の例のように、同じ行にあっても問題ありません。また、3番目のように、市区町村データ、大字データが各行にあっても問題ありません。

プログラムは CSV 形式で表をリードするため、一旦 CSV 形式のファイルを作っておく必要があります。Excel の場合、「名前をつけて保存」でファイルの種類を「CSV(カンマ区切り)(*csv)」で保存してください。

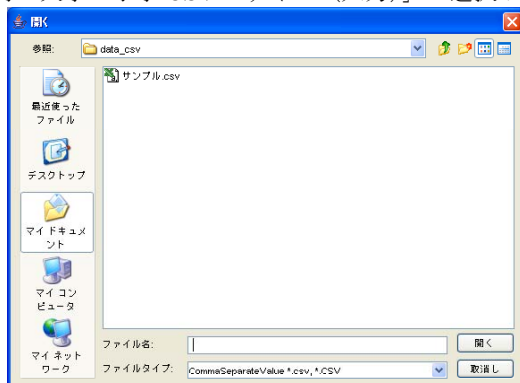


2.2. 実行

「AgrMajMinCode.bat」を開くあるいはダブルクリックでプログラムが起動します。



「市区町村・大字・小字 CSV ファイル (入力)」の選択ボタンで、CSV ファイルを指定してください。



選択された CSV ファイル名をボタンの横に表示します。

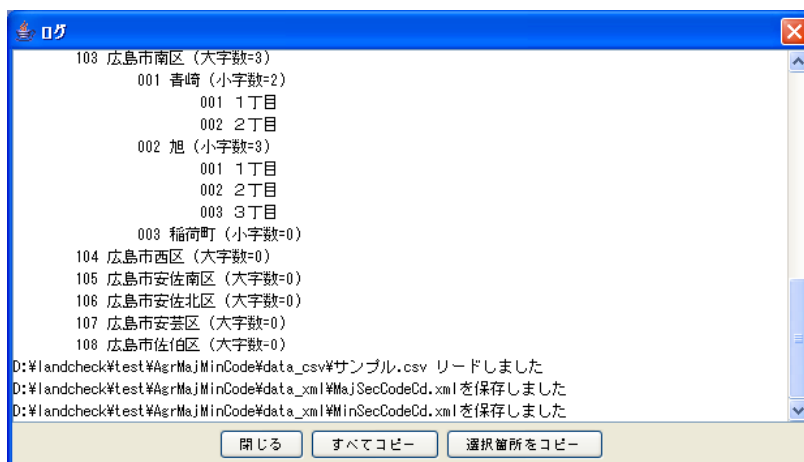
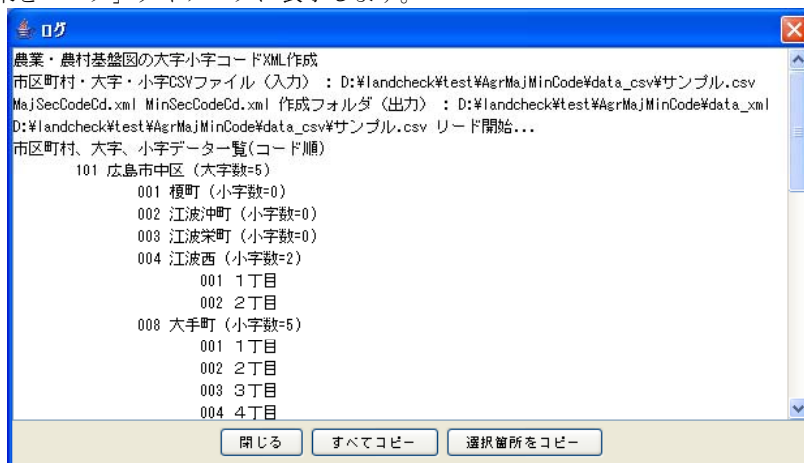
同様に、「MajSecCodeCd.xml MinSecCodeCd.xml 作成フォルダ（出力）」は、XML ファイルを保存するフォルダを指定します。

「表の列番号」で「市区町村・大字・小字 CSV ファイル」でのそれぞれの項目の列番号を指定します。

「出力 XML の文字コード」は「UTF-8」を選択します。「Shift_JIS」は確認用で、XML ファイルの文字コードを Shift_JIS で出力します。

「実行」ボタンで CSV ファイルを読み込み、MajSecCodeCd.xml と MinSecCodeCd.xml ファイルを作成します。

処理の結果を「ログ」ダイアログに表示します。



CSV ファイルの内容確認のため、市区町村データ、大字データ、小字データをコードが小さいほうから順に表示しています。エラーがあった場合、その旨を表示します。

「閉じる」ボタンでダイアログを閉じます。

「終了」ボタンで、プログラムを終了します。

CSV ファイル名など設定された内容はインストールフォルダ下の ini フォルダを作成し、「農業・農村基盤図の大字小字コード XML 作成.ini」に保存し、次回起動時に同じ設定で表示します。他の、設定情報も ini フォルダに記録しています。

2.3.CSV ファイルのチェック

コード表の CSV ファイルを読み込み際に以下のチェックを行い、問題があればログに表示します。

- ・ 市区町村コードと市区町村名のどちらかのみが入力されている場合
- ・ 大字コードと大字名のどちらかのみが入力されている場合
- ・ 小字コードと小字名のどちらかのみが入力されている場合
- ・ 同じ大字に小字コードが重複して定義されている場合

2.4.XML ファイルの確認

作成した MajSecCodeCd.xml と MinSecCodeCd.xml が XML ファイルの形式として問題がないかは、Internet Explorer で開くことで確認できます。



もし、XML ファイルの形式として問題がある場合、その旨のメッセージを表示します。

